

2019年度事業報告

令和元年5月1日健康管理システムを刷新し、施設・巡回健診を同様の仕組みで実施することで受診者へのサービスの向上・職員業務の軽減を図りました。また、常勤医師の確保、正規職員の採用により業務負担の軽減を図りました。対象（者）数の減少はありましたが、検診事業・検査事業ともに県内5施設で滞りなく実施しました。

1 公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業

健(検)診・検査の必要性を広め、受診率等の拡大につなげるため、以下の普及啓発事業を行いました。

(1) 機関誌「みんなの健康」等の発行

- ア 機関誌「みんなの健康」：6／1、9／1、12／1、3／1の 計 4回
(内容：健康づくり、環境検査、その他)
- イ 事業団だより：毎月1日 計 12回

(2) 小・中学生の職場学習体験等

- ア 中学校：「わくわくひがし」5月13日～17日（鳥取市立東中学校）
「わくわく南」5月14日～17日（鳥取市立南中学校）
「わくわく国府」6月18日～21日（鳥取市立国府中学校）
- イ 小学生等：「親子で水について学ぼう」8月10日 14組
鳥取県林業試験場（水環境保全課主催）

(3) 各種大会等の開催

- ア 鳥取県がん征圧大会（9月3日 倉吉市にて開催） 入場者数：約200人
令和元年度 がん征圧スローガン「がん検診 あなたを守る 新習慣」
(ア) 講演：『血液のがんについて』
講師 鳥取大学医学部附属病院 血液内科 教授 福田 哲也 先生
(イ) がん征圧月間キャンペーンを実施 8月20日（県内3カ所）

(4) がん会員募集・複十字シール募金運動（結核予防週間行事として街頭キャンペーン）

- ア がん会員募集 毎年9月 募金額：834,000円
街頭キャンペーン：8月20日（県内3カ所）
- イ 複十字シール募金 毎年8月～12月 募金額：827,663円
9月24日～30日（結核予防週間）
結核予防キャンペーン：9月20・22日（県内3カ所）

(5) リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり

- ア リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり第1回実行委員会の開催
実行委員長等役員の選出など・・・11月15日（境港市）
実行委員長 中村 勝治 境港市長
副実行委員長 丸瀬 和美 鳥取県保健事業団理事長
事務局長 森脇 光洋 常務理事
- イ リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり 第2回実行委員会
3月13日（書面開催）

(6) その他

ア 企業・市町村からの講演、指導依頼への対応

- (ア) 医師の講演
a 『認知症について』
9月19日 検察庁（鳥取市）
- (イ) 保健師、管理栄養士の講演
a 『動脈硬化測定健診項目について』
4月7日 鳥取卸センター（鳥取市）
b 『健診結果から見える病気のサイン』
5月8日 米子保健所管内食生活改善推進員連絡協議会総会
11月20日 倉吉支部 食生活改善推進員連絡協議会総会
c 『元気で長生き！』
6月26日 鳥取県左官業組合（鳥取市）
d 『インフルエンザ対策』
10月21日 鳥取卸センター（鳥取市）
e 『受けるだけじゃもったいない！健診結果でわかる体のサイン』
・『基礎から学ぼう、食事バランス』
11月21日 ベクト総業大真空（鳥取市）
- (ウ) 令和2年度特定健診・がん検診等に係る各種検診業務打合せ（1月8日倉吉市）
a 『令和2年度 各種報告事項等について』
b 『鳥取県の肺がん検診について』
- (エ) 令和元年度 鳥取県市町村等水道事業担当者連絡会（1月31日倉吉市）

イ ピンクリボン運動等の活動へ参加

- (ア) 米子ピンクリボンフェスタ2019：6月16日（米子市）
(イ) 鳥取ピンクリボンフェスタへ参加：10月27日（鳥取市）
(ウ) 世界禁煙デーin米子：6月2日（米子市）
(エ) 鳥取市民健康ひろば：11月24日（鳥取市）

ウ 新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業

(ア) 令和元年度鳥取県健康を守る婦人の会全体研修会（3月13日琴浦町 予定）

a 『複十字シール募金の使途について』

公益財団法人結核予防会 事業部 普及広報課

b 『肝臓がん検診について』・『リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり』

(イ) リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり第2回実行委員会（3月10日予定）

2 公衆衛生に関する必要な調査・研究事業

(1) 関係役職員が、各種専門委員会の委員として、県民の健康維持増進のための施策に参画し、鳥取県健康対策協議会へデータ提供等を行い、疾病予防へつなげました。

胃がん対策専門委員会、子宮がん対策専門委員会、肺がん対策専門委員会、乳がん対策専門委員会、大腸がん対策専門委員会、肝臓がん対策専門委員会、若年者心臓検診対策専門委員会、公衆衛生活動対策専門委員会、生活習慣病対策専門委員会で関係職員が委員として活動しました。

(2) 検査結果の利活用

ア 鳥取県公衆衛生学会等への参加

調査研究結果をまとめて公衆衛生学会にて発表し、県民へ情報の提供を行いました。

(ア) 第62回鳥取県公衆衛生学会（7月18日）

a 『栄養成分の分析値と合理的な方法に基づいた表示値について』

b 『肝炎ウイルス検査の実績について』

c 『鳥取県における浄化槽法定検査の水質検査結果の推移』

d 『鳥取県保健事業団における腹部超音波検査での脂肪肝所見と

その他の健診データの関連について』

イ その他

(ア) 予防医学事業中央会 第54回技術研究会議・技術運営会議

(2月25～28日 岩手県)

a 『血液の分注方法についての検討～針刺し事故をなくす為に～』

b 『子宮頸がん検診におけるASC-USとハイリスクHPVの関係』

(イ) 令和元年度健診結果（一次・二次）を各市町村へ性年齢階層別に集計し提供しました。

(ウ) 水道水質検査結果は、過去データを取りまとめて各水道事業体へ提供しました。

(3) 研修等

職員の技術等のレベルアップのため以下の研修を行いました。

ア 専門研修

医師・放射線・臨床検査・水質・環境測定等に係る専門知識の習得及び技術の向上を

図るため、中央団体が実施する研修会へ派遣しました。（72研修会 延べ108名）
（日本対がん協会・予防医学事業中央会・結核予防会・全国労働安全衛生団体連合会・
中央労働災害防止協会・全国食品衛生協会等に派遣）

【抜粋】

第108回日本病理学会総会（5/9～11東京）、第60回日本臨床細胞学会総会
（6/7～8東京）、全国給水衛生検査協会西日本支部 令和元年度総会・研修会・
研究発表会（6/20・21沖縄県）、日本作業環境測定協会 令和元年度 中国支
部定期総会（6/27岡山）、全国給水衛生検査協会 令和元年度総会・理事会（6/
28東京）、日本対がん協会がん検診受診者拡大を考える研修会（7/12東
京）、・・・・・・・・

全国給水衛生検査協会 20条検査・34条検査登録検査機関検査部門管理者研修会（2
/10東京）、令和元年度日本環境測定分析協会 中国・四国支部 研究発表並びに
最新技術発表会（2/21広島県）、全国労働衛生団体連合会特殊健康診断研修会
（2/18東京）、第54回予防医学技術研修会議（2/26～28岩手県）等

※ 3月以降 新型コロナウイルス感染症対策により県外出張中止

【県内実施】

実施なし

※その他専門研修等 県内（専門等68研修会、延べ101名）

イ 一般研修・・・2回開催

【8月16日（鳥取・倉吉・米子）・・・・TV会議システム利用＝全職員参加
・全職員対象に、交通安全、個人情報取扱等の基礎力アップを図る職員研修

(ア) 安全衛生

『ストレスチェックについて』

(イ) 交通安全

◎鳥取・米子

『交通安全について（高齢者の事故等も含めて）』 鳥取警察署 交通課第一課

◎倉吉

『交通安全について』 倉吉警察署 交通課

(ウ) 個人情報・・・・DVD視聴＋理解度テスト実施

『その警告メッセージ、信じて大丈夫？』

『ウイルスはあなたのビジネスもプライベートも狙っている！』

(エ) 人権研修

◎鳥取・倉吉・・・・DVD視聴・感想文提出

『ハラスメントを生まないコミュニケーション -グレーゾーン事例から考える-』

『コミュニケーションに潜むセクハラ危険』

◎米子・・・・講演

『ダイバシティ時代に求められる人権について』 米子市人権政策課

(オ) 第1回消防訓練

- ・『救命講習』 実地訓練 鳥取消防署
- ・『災害時対応・防災について』 倉吉市防災センター
- ・『過去の災害の教訓を生かし、現在に備える』

DVD視聴+『災害時の心得』元西部広域職員

【3月9日（全職員）】・・・新型コロナウイルス感染症対策により中止⇒書面実施

・全職員対象に、リスクマネジメント対策、接遇、人権意識等のレベルアップを図る

職員研修

(ア) 安全衛生教育

講演『安全衛生委員会からのお知らせ』

(イ) 接遇研修

『サービス業としての心構えについて』 山陰合同銀行 業務推進グループ

(ウ) 人権研修

講演『鳥取県内の人権問題について』 倉吉市人権文化センター

(エ) 個人情報研修

『情報漏洩とヒューマンエラーについて』

東京海上日動火災保険株式会社 鳥取支社、有限会社福田保険事務所

※セルフチェックリスト形式等で実施

【安全衛生教育】

「安全衛生委員会からのお知らせ」配布

【人権研修】

「同和問題ワークシート」自己学習

【個人情報教育】

「情報漏えい対策のしおり」自己学習

「職員研修チェックリスト」実施

【接遇研修】

「接遇チェックリスト」実施

ウ 健診技術向上のための健診従事者研修 2月10日 実施

【内容】 医療事故防止策、ミス・トラブル報告、各委員会報告、緊急措置講習等

・その他 6月 4日～3月 3日 計 6回 上部消化管撮影技術研修会

7月 7日～3月24日 計 3回 各項目別従事者研修会

4月12日～3月13日 計15回 IS09001品質会議等 実施

エ 個人情報、情報セキュリティに関する講習 8月16日、3月9日 全職員対象

オ 中央団体が主催する管理職研修会等へ参加

(ア) 令和元年度がん征圧全国大会（9月12・13日 愛媛県）

(イ) 第64回予防医学事業推進全国大会（11月21・22日 香川県）

※ 第71回結核予防全国大会（3月16・17日 静岡県）・・・中止

その他

- ・日本対がん協会全国事務局長会議（7月2日東京都）
- ・日本対がん協会全国支部長会議（9月12日愛媛県）
- ・予防医学事業中央会全国運営会議（7月10日東京都・11月21日香川県）
- ・結核予防会事業協議会役員会、令和元年度結核予防会事業協議会研修会並びに総会及び令和元年度結核予防会全国支部事務局長研修会並びに事務連絡会議（1月30・31日東京都）

(4) その他

- ア 「リスク別の胃内視鏡検診の研究」への協力 鳥取・米子会場 計8回
- イ 「リレー・フォー・ライフ・ジャパンふくい2019」視察（9月7・8日福井県）

3 疾病予防のための健(検)診・検査及び生活環境に関する検査事業の実績について

《健診事業について》

受診対象者が減少している状況で、計画的に実施しました。しかし、一部事業では年度途中の消費税改正による計画の集中を防ぐために総額単価実施により、収入が減少しました。

【地域健診】

市町村の休日巡回健診回数は前年比較として、特定健康診査（+3）、子宮がん・乳がん・結核・肺がん（-1）、他は同数実施しました。しかし、各がん検診受診者は、高齢化による減、定年延長による対象者の減、胃がん検診の内視鏡への移行などの制度変更も含め受診者数が減少しています。

【職域健診】

巡回健診実施事業所を施設健診実施へ可能な限り移行依頼しています。施設健診として、健診センター（鳥取市）・西部健康管理センター（米子市）・中部健康管理センター（倉吉市）での実施を含め、協会けんぽ生活習慣病予防健診を積極的に実施しました。また、希望者の多い内視鏡検査も鳥取大学医学部等の協力を得て可能な限り実施しました。総合健診事業では、積極的な渉外活動の結果、協会けんぽ生活習慣病予防健診、定期健康診断全項目が増え、システムの変更により健診コースを変更したため、件数は減少しましたが、増収につながりました。

《検査事業について》

他機関との入札等厳しい競争の中、学校保健安全法に基づく胸部X線検査・心電図検査等については、児童・生徒数の減少もあり、寄生虫・尿検査、細菌検査を含め全検査数・収入ともに大幅に減少しました。

《生活環境に関する検査事業について》

浄化槽検査は、下水道接続による廃止で件数、収入ともに減少しています。また、山陰道工事完了によるスポット検査委託件数・収入ともに減少しています。他の検査事業についても、1項目あたり高額な検査項目が減り、安価な検査が増えたため、全体的に件数は減少し、収入は大幅に減少しました。

《まとめ》

検診事業では、単独の各がん検診事業は減少していますが、巡回健診の安定した落札と施設健診の充実により順調な状況です。また、検査事業では対象者数の減少、厳しい入札状況と委託業務の差異で前年度と比較し苦しい状況となりました。